

こじょうライブラリー

第 76 号

14 . 7 . 1

名古屋市高年大学
鯉城学園図書室報

～樋口一葉を想うとき～

「朝咲き夕は消ゆる鴨頭草の消ぬべき恋もわれはするかも」(万葉集 作者不詳)

梅雨に入り濡れたつゆ草を見たくて、今年もお墓参りの道すがら草むらに踏み入り、つゆ草を探しながらそろそろと歩く、「待ってたの～」とばかりに小さいながらも鮮やかな紺紫で可憐で、頼りなげで、それで居てツン！としながらも密かに咲いて待って居てくれました。指で触れるとその色がこちらに薄く渡り何とも儚げではあるが、しっかりと根から茎を伸ばしてその先に朝の涼しい時のみに朝陽に顔を見せてくれる、手折る事も出来ずにしゃがみこんで見入って仕舞いました。

「紫陽花の八重咲く如く弥つ代にをいませわが背子見つゝ偲はむ」(万葉集 橘 諸兄)

それにひきかえ紫陽花は、この時期、何処のお宅の庭先にも伸びやかで堂々として居て、梅雨に濡れてますます艶を増して咲く紫陽花は時々色で大きく美しい！七変化ともいわれる所以では～？

私は樋口一葉を思うとき、この万葉集に詠われている儚くも人知れず静かに咲くつゆ草と、大きく堂々と華やかに雨に濡れて艶っぽく咲く紫陽花を重ねて思い描いてしまうのですが皆様はどの様に樋口一葉を思われますか？嫁いで偶然にも同じ名字と云うことで一葉(いちよう)と云う書き文字と声に出しての響きの儚さが哀れに感じられます。一葉は短い生涯にも関わらず女性では初めてお札(五千人札)にも使われて居るので知らない人は居ないのではないのでしょうか？一葉は小説家として、歌人として、執筆活動で苦しい生計を支えて居たにも関わらず、恋の匂いも秘かに感じられる、芯の強い美しい女性だったと勝手に思っています。これを機会に一葉の作品を全て読みつくしてみたいと考えて居ります。

そして今、宮尾登美子と渡邊淳一の作品を足して二つに割った様な按配の良い(私の都合)作品を探して居ります。何方かご存知有りませんか？

(25期 地域学科 樋口 五十鈴)

※ 皆様の投稿(700字程度まで)をお待ちしています。事務局図書係までご連絡ください。

※ よく読まれている本 ・村上海賊の娘…和田竜 ・犬から聞いた素敵な話…山口花 ・不安の9割は消せる…枅野俊明 ・新老人の思想…五木寛之 ・私はマララ…マララ・ユフサイ ・軍師官兵衛…前川陽一 ・シルバー川柳…全国有料老人ホーム協会/ポプラ社 ・海賊とよばれた男…百田尚樹

※ 4月～6月の図書室利用状況(4～6月)

	入室者数	貸出数
1年	471	372
2年	457	349
OB	679	625
合計	1,607人	1,346冊

新刊図書（４月～６月）

著 者 名	著 書 名	出 版 社 名
マイケル・ブース	英国一家、日本を食べる	亜紀書房
和田 竜	村上海賊の娘(上巻・下巻)	新潮社
坪田 信貴	学年ビリが１年で偏差値40上げて慶應大学に現役合格した話	KADOKAWA
本田 健	60代にしておきたい17のこと	だいわ文庫
林 真理子	フェイバリット・ワン	集英社
立川 談志	談志が遺した落語論	dZERO
小野 庄一	テッペンを死ぬまでに見たい 富士山からの絶景	講談社
伊集院 静	愚者よお前がいなくなって淋しくてたまらない	集英社
太田 牛一	信長公記(現代語訳:中川太古)	新人物文庫
伊集院 静	許す力	講談社
樋口 一郎	新釈日本百名山	東京新聞
岸見一郎／古賀史健	嫌われる勇氣	ダイヤモンド社
須田 寛	東海道新幹線50年	交通新聞社
高橋 秀実	弱くても勝てます	新潮文庫

鯨城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書(4月～6月)

著 者 名	著 書 名	出 版 社 名
新海 誠	小説言の葉の庭	KADOKAWA
山口 花	犬から聞いた素敵な話	東邦出版
枘野 俊明	不安の9割は消せる	世界出版社
湊 かなえ	豆の上で眠る	新潮社
村上 春樹	女のいない男たち	文芸春秋
佐々木 健一	辞書になった男	文芸春秋
門田 隆将	記者たちは海に向かった	角川書店
前川 陽一	NHK大河ドラマ 軍師官兵衛1・2	ノベライズ
盛岡 督行	荒野の古本屋	晶文社
和田 哲男	戦お国史を歩んだ道	ミネルヴァ書房
吉沢 久子	96歳。今日を喜ぶ。一人をたのしむ。	海竜社
冨手 淳	線路はつながった(三陸鉄道 復興の始発駅)	新潮社
朝山 実	父の戒名をつけてみました	中央公論
宮本 輝	満月の道	新潮社
茂木 誠	経済は世界から学べ	ダイヤモンド社
曾野 綾子	風通しのいい生き方	新潮社
小池 龍之介	しない生活 煩悩を静める108のお稽古	幻冬舎
五木 寛之	新老人の思想	幻冬舎
サラ・ネイサン セラ・ローマン	アナと雪の女王	偕成社
百田 尚樹	プリズム	幻冬舎
池井戸 潤	ルーズヴェルトゲーム	講談社
ピーター・ヘスラー	北京の胡同	白水社
溝口 常俊	古地図で楽しむなごや今昔	風媒社
東野 圭吾	虚ろな十字架	光文社
水野敬也・鉄拳	それでも僕は夢を見る	文響社
轡田 隆史	「考える力」をつける本	三笠書房
柏木 博	日記で読む文豪の部屋	白水社